

NEO G-Child ISO tether

取扱書

お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター
全国共通・フリーコール

0800-700-7700

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目10番27号
第2豊田ビル西館7階

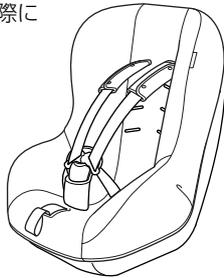
オープン時間/365日 9:00~18:00

当製品は安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売されておりますが、万リコール等を実施する場合に、速やかにお客さまにご連絡し、修理等を行うため、ご登録をお願いいたします。つきましては、お手数をおかけして申し訳ございませんが、製品梱包箱に付いているお客様登録カードにお名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、お買い上げいただいた販売店にお渡しいただくか、トヨタ自動車株式会社 トヨタ純正チャイルドシートお客様登録カード係まで郵送いただきたく、お願いいたします。

取り付け手順

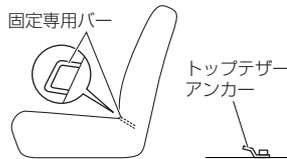
このチャイルドシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗用装置です。

チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



ISOFIX対応チャイルドシート

このチャイルドシートは専用のベースとテザーベルトを併用することにより、お車のISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーに取り付けることができます。



お客さまのお車で、このチャイルドシートをISOFIXとして取り付けできるかは、お車の取扱書にて、右記条件のISOFIX対応チャイルドシートに対応していることをご確認ください。

固定専用バーとは、
お車のシート座面と背もたれの間を組み込まれている直径6mmのバーのことです。

ISOFIX仕様

カテゴリー	ユニバーサル(汎用型)
グループ	I (9~18kg)
サイズ	A, B, B1 に適合

お子さまの体重が9~13kgの場合、チャイルドシートをお車の進行方向に対し、後ろ向きにも前向きにも取り付けることができますが、できる限り後ろ向きでご使用いただくことをお勧めします。

必ずお読みください
P. 5~15

シートベルトで
お車に取り付ける

チャイルドシート
取り付け前の準備
P. 21~30

お車に取り付ける

 お子さまの体重
13 kg未満
P. 31~36

 お子さまの体重
9~18 kg
P. 37~42

お子さまを座らせる
P. 45~46

ISOFIXで
お車に取り付ける

チャイルドシート
取り付け前の準備
P. 49~56

お車に取り付ける

 お子さまの体重
9~18 kg
P. 57~62

9kg未満のお子さまに対してはISOFIXとしてご使用いただけません。

お子さまを座らせる
P. 65~66

取り付け手順				2
ご使用にあたって	次のものがそろっていますか.....5 各部の名前(チャイルドシート).....7 各部の名前(ベース、テザーベルト) ...8			5
ご使用上の注意	マーク表示について.....9 緊急時には.....10 お子さまを乗せるときは.....11 取り付けるときは.....12 こんなことにも注意して.....13			9
シートベルトで 取り付ける	お子さまの条件.....16 取り付けできるシート.....17 取り付けできないシート.....18 取り付けできるシートベルト.....19 取り付けできないシートベルト.....20	チャイルドシート 取り付け前の準備21 お車への取り付け (乳児用:体重13kg未満)31	お車への取り付け (幼児用:体重9~18kg)37 リクライニングの使いかた.....43 お子さまの座らせかた.....45	16
ISOFIXで 取り付ける	お子さまの条件.....48 取り付けできるお車.....48 チャイルドシート 取り付け前の準備.....49	お車への取り付け (幼児用:体重9~18kg)57 リクライニングの使いかた.....63 お子さまの座らせかた.....65		48
お手入れのしかた	シートカバー類の取りはずし.....67 シートカバー類の取り付け.....70 各部のお手入れ.....72 補修部品について.....73			67

ご使用にあたって

次のものがそろっていますか

ご使用になる前に、下記の製品がそろっているかご確認ください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店またはお客様相談センター（0800-700-7700）までご連絡ください。お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシートの品番を必ずお伝えください。もし、品番が不明な場合は、背面に貼ってある型式ラベルに記載されている型式ナンバーをお伝えください。（P.73参照）

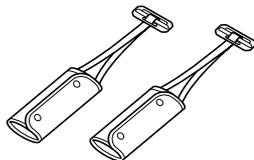
■チャイルドシート【NEO G-Child ISO tether】

1) チャイルドシート本体

（後ろ向き用ハーネスカバー、
ネストクッション付き）

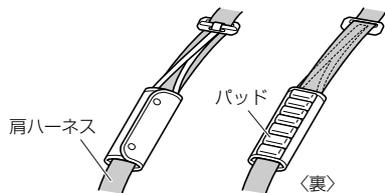


2) クリップ、前向き用肩ハーネスカバー



◆知識

前向き用ハーネスカバーには、裏面（お子さまの体に接触する面）に凹凸のパッドが付いています。



3) 取扱書

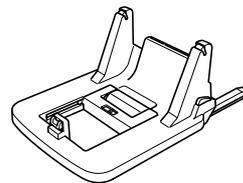
シートクッション側面に取扱書の
収納スペースがあります。



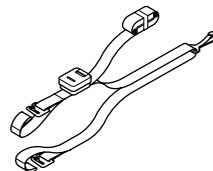
■ベースキット【NEO ISOベース】（別売）

ISOFIXとしてご使用になる場合は、ベースキット（別売）のベースとテザーベルトが必要になります。

1) ベース

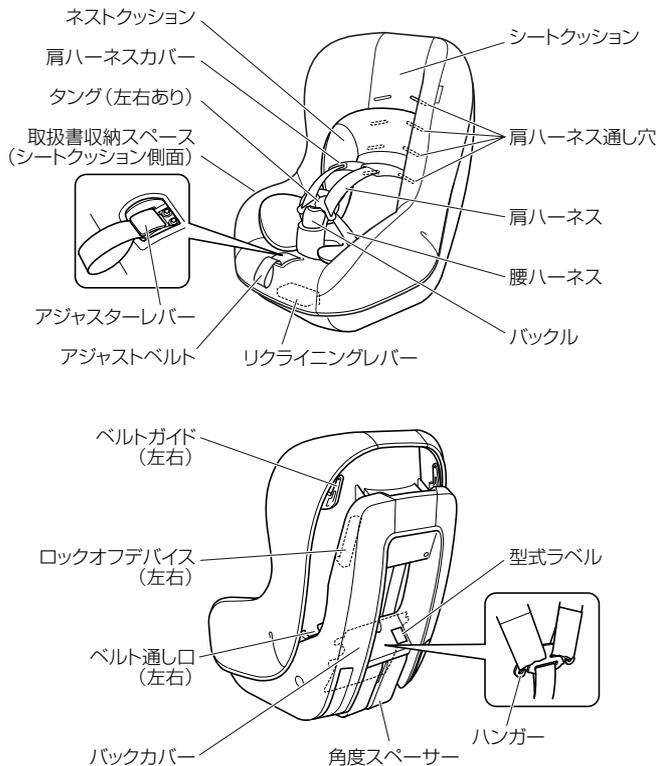


2) テザーベルト



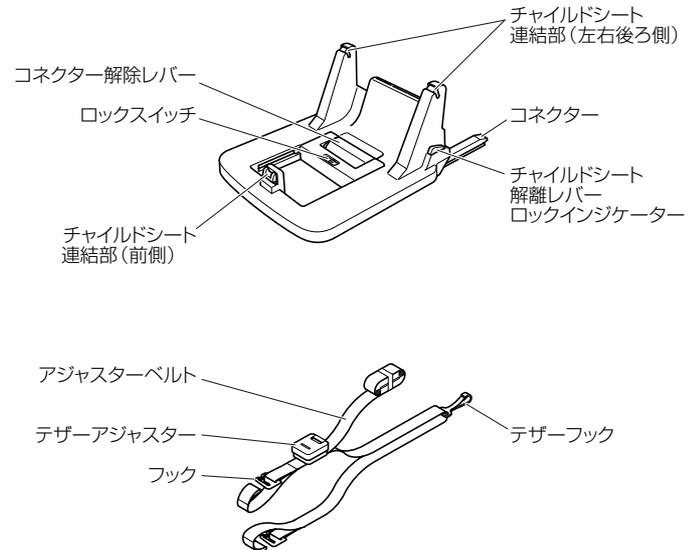
各部の名前 (チャイルドシート)

実物を見ながらご確認ください。



各部の名前 (ベース、テザーベルト)

ベース、テザーベルトをご使用になる場合は、下記もあわせてご確認ください。



マーク表示について

この取扱書には、安全にご使用いただくために、特に守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。

これらの記載内容は重要ですので、しっかりと読みください。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性がある内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。



知識

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

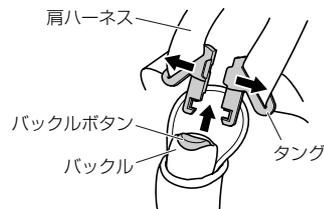


図示されている行為の禁止を示しています。

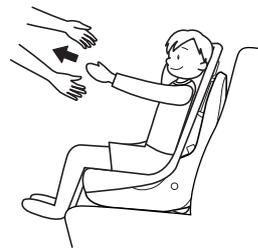
緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ①バックルボタンを押してバックルからタングをはずす。



- ②お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



知識

バックルボタンを押してもタングがはずれない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは

お子さまだけを車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故など）につながるおそれがあります。



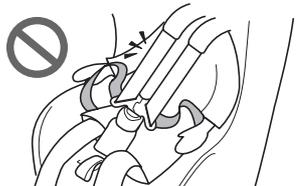
走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないでください。



ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調節してください。ねじれていると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。



⚠ 警告

取り付けるときは

チャイルドシートを安全にお使いいただくため、柔軟材料（専用カバー類・ベルト類・発泡材料等）を取りはずしたり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。切れていたりすると、チャイルドシートが正常な動きをしません。



チャイルドシートを車両に固定するシートベルトやテザーベルトに緩みや、ねじれないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



取扱書に記載された以上の分解や、構成部品を取りはずした状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



⚠ 警告

こんなことにも注意して

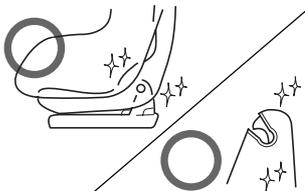
事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。



チャイルドシート・ベース・テザーベルトのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



ベースのチャイルドシート連結部、チャイルドシートの取り付けピン部に異物が入るとチャイルドシートが固定されないおそれがあります。



チャイルドシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないでください。



⚠ 注意

こんなことにも注意して

チャイルドシートやベースに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。



可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにして本品を取り付けてください。



ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつけるおそれがあります。ベースを車室内に置く場合には、安全のためISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーに取り付けたベースにチャイルドシートを固定しておいてください。



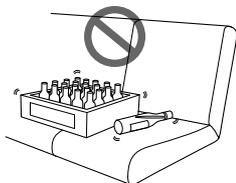
チャイルドシートにお子さまを乗せないときでも、安全のため必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。



⚠ 注意

こんなことにも注意して

事故発生時や乗員に、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。
万 one のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



シートベルトで取り付ける

お子さまの条件

チャイルドシートは、お子さまの条件により、取り付けかたが異なります。ご使用になるお子さまに合った、正しい取り扱いを行ってください。

	乳児用	幼児用
体 重	13kg未満	9~18kg
参考年齢*	新生児~1歳半頃まで	9ヶ月頃~4歳頃まで
参考身長*	85cm未満	70~ 100cm以下
取り付けかた	後ろ向き 	前向き

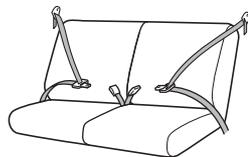
※年齢・身長範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

⚠ 警告

お子さまの体重が9kgを超えるまで前向きで使用しないでください。

取り付けできるシート

- 進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いている座席



知識

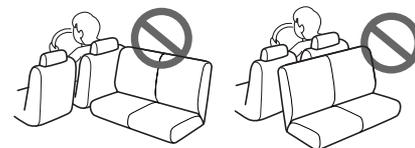
お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱書もあわせてご確認ください。

取り付けできないシート

- シートベルトが付いていないシート



- 横向き・後ろ向きになっているシート



- チャイルドシートを後ろ向きに取り付ける場合、前方にエアバッグが装備されたシート

知識

チャイルドシートを前向きで、やむを得ず助手席に取り付ける場合には、シートを一番後ろの位置に調整してください。



- チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート



警告

お車のシートが以上のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定規則第16号 (ECE R16)、または同等の基準で許可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備したお車にてご使用することができます。

■ELR (緊急ロック式ベルト巻取り装置) 付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く (急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき) とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付きELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときはELR機能が働く。



📖 知識

現在、後席ではこのタイプのシートベルトが主流になっています。

📖 知識

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■腰ベルト側に付いたELR (緊急ロック式ベルト巻取り装置) 付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く (急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき) とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。

■ALR (自動ロック式ベルト巻取り装置) 付シートベルト

シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引き出せない (巻き戻しは可能) タイプ。

■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■オートマチックベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトをはずすときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■NLR (非ロック式ベルト巻取り装置) 付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

■その他のシートベルト

P.19「取り付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト。

⚠️ 警告

お車のシートベルトが以上のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

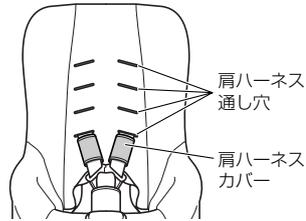
チャイルドシート取り付け前の準備

ハーネス高さおよびカバーの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置（P.22参照）を調整し、肩ハーネスカバー（P.23参照）を使用する必要があります。

知識

- 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」（P.45）をご参照ください。



肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合、また正しい肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換」（P.24）を参照し、正しい状態にしてください。

肩ハーネスの高さ

お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（P.24）を参照し、以下のように正しい位置に調整してください。

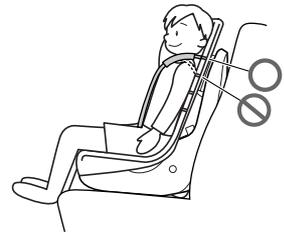
■後ろ向き（体重13kg未満）

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩より低い位置。



■前向き（体重9～18kg）

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩より高い位置。



⚠ 警告

肩ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

チャイルドシート取り付け前の準備

肩ハーネスカバー

肩ハーネスカバーには後ろ向き用と前向き用があり、肩ハーネスカバーの交換方法につきましては、「肩ハーネスカバーの交換」(P.24)を参照し、以下のように正しくお使いください。

ご使用になるお子さまに合った肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、正しい肩ハーネスカバーを取り付けてください。

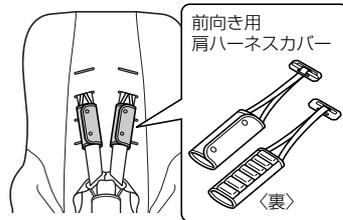
■後ろ向き (お子さまの体重13kg未満)

後ろ向き用肩ハーネスが付いていることを確認する。



■前向き (お子さまの体重9~18kg)

前向き用肩ハーネスが付いていることを確認する。



⚠ 警告

正しい肩ハーネスカバーを使用しないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

①リクライニングを3段目 (P.43参照) にセットする。

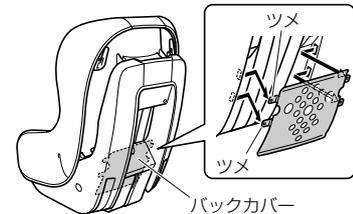
②アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。



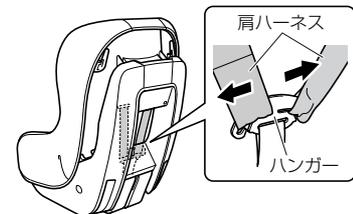
📖 知識

肩ハーネスを持って、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

③バックカバーをたわませてツメをはずし、本体から取りはずす。



④肩ハーネスをハンガーから取りはずす。

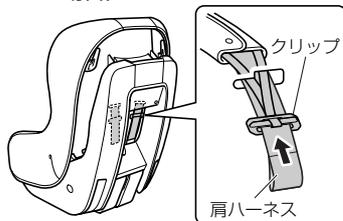


チャイルドシート取り付け前の準備

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

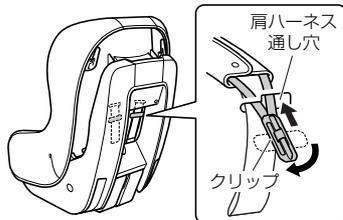
＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

- ⑤ 肩ハーネスカバーのクリップから肩ハーネスを引き抜く。



＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

- ⑥ クリップを縦にして、肩ハーネス通し穴へ通す。

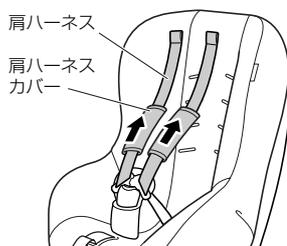


📖 知識

一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.43参照)

- ⑦ 肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。

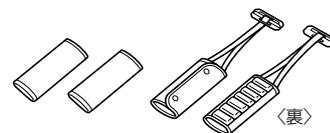
- ⑧ 肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



- ⑨ 肩ハーネスに、ご使用になるお子さまに合った肩ハーネスカバーを取り付ける。(P.23参照)

13kg未満
(後ろ向き用)

9~18kg
(前向き用)



＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

- ⑩ クリップを縦にして肩ハーネス通し穴へ通す。

📖 知識

一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.43参照)



- ⑪ 肩ハーネスを適切な肩ハーネス通し穴へ通す。

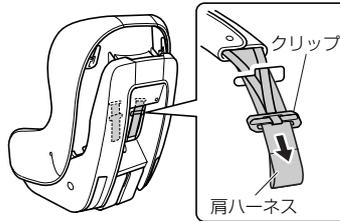


チャイルドシート取り付け前の準備

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

〈前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合〉

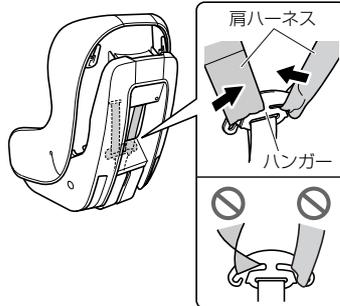
- ⑫肩ハーネスを肩ハーネスカバーのクリップへ通す。



- ⑬肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

⚠ 警告

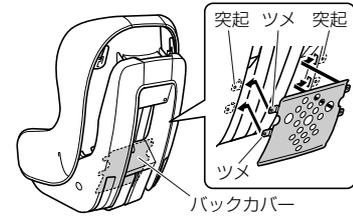
肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けてください。ねじれていたり、半掛けの状態で使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑭バックカバーを取り付ける。

⚠ 注意

バックカバーのツメが本体に確実にはまっていなかったり、取り付ける向きが正しくないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。



チャイルドシート取り付け前の準備

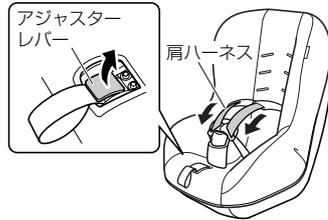
ネストクッションの取り付け

ネストクッションは、後ろ向き取り付け時（お子さまの体重13kg未満）のみに使用することができます。

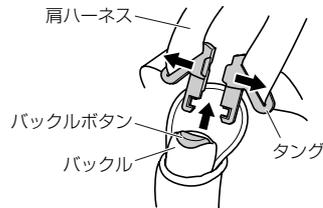
⚠ 注意

ネストクッションを前向き取り付け時に使用すると、事故時にチャイルドシートが十分な機能を発揮しないおそれがあります。

- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③シートの形状、肩ハーネスの位置に合わせてネストクッションを置く。

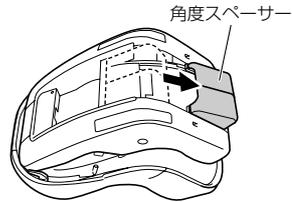


お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

- ①チャイルドシート底面の角度スペーサーを後ろ向き取り付け位置（前方）にセットする。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



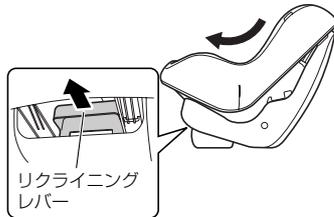
- ②リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、3段目（背もたれが最も倒れた位置）（P.43参照）にセットする。

⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ③チャイルドシートの最前部がシートの背もたれにぴったりと付くように、チャイルドシートを置く。

📖 知識

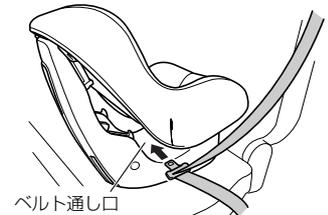
お車のシートが損傷しないようにチャイルドシートの下にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。



- ④シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

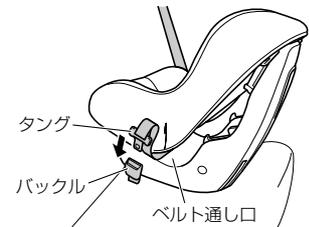
ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

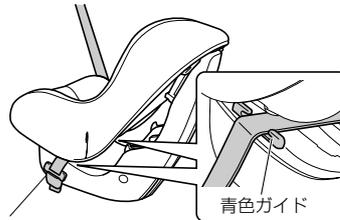
⚠ 警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

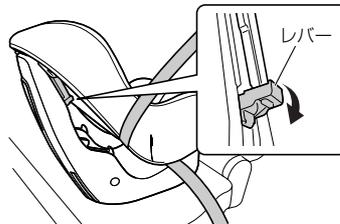
- ⑥腰側（下側）のシートベルトが青色ガイドの上を通っていることを確認してください。（チャイルドシートの左右両側とも確認）



- ⑦ロックオフデバイスのレバーを開く。

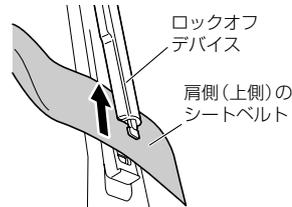
知識

ロックオフデバイスはお車のバックルと反対側のみ使用します。両側使用する必要はありません。



- ⑧肩側（上側）のシートベルトをロックオフデバイスに通す。

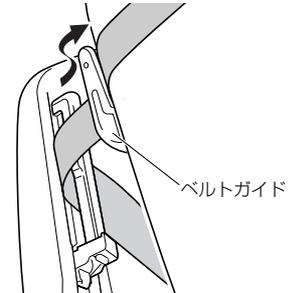
- ⑨ロックオフデバイスのレバーを閉じる。



警告

ロックオフデバイスのレバーが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、事故時に重大な傷を負う可能性があります。

- ⑩ベルトガイドにシートベルトを通す。



＜チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合＞

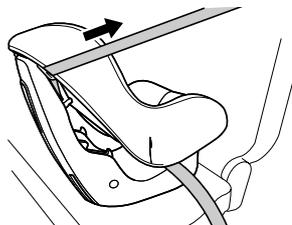
- ⑪シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

知識

チャイルドシート固定機能の詳細な取り扱いについては、お車の取扱書をご参照ください。

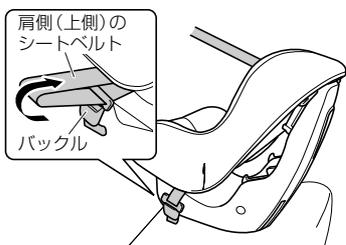
お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

- ⑫チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



知識

腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。



- ⑬取り付けチェック

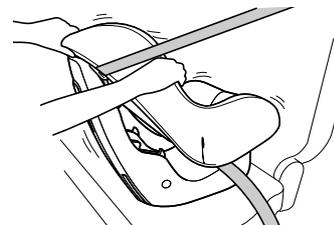
チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。しっかり取り付けられていない場合は手順③からやり直す。

警告

チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは緩みがないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

知識

取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

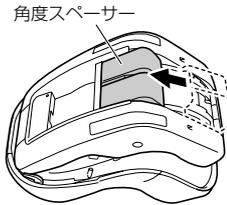


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ①チャイルドシート底面の角度スペーサーを前向き取り付け位置に（後方）セットする。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



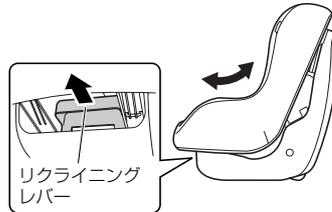
- ②リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、2段階（P.43参照）にセットする。

⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

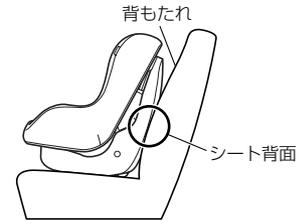
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ③チャイルドシートの背面がシートの背もたれに当たるようにチャイルドシートを置く。

📖 知識

お車のシートが損傷しないようにチャイルドシートの下にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。



- ④シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

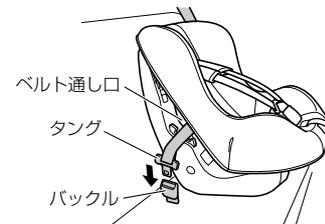
ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

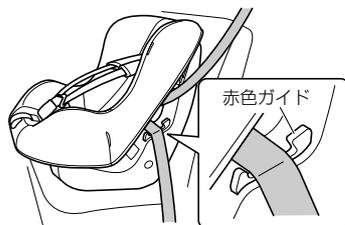
⚠ 警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

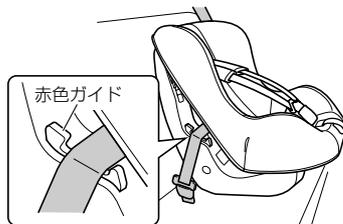


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

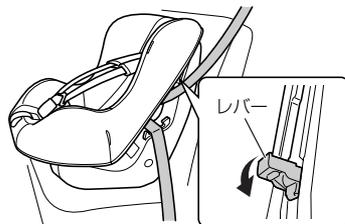
- ⑥腰側（下側）のシートベルトを赤色のベルトガイドの上を通るように移動させる。



- ⑦反対側も腰側（下側）のシートベルトを赤色のベルトガイドの上を通るように移動させる。

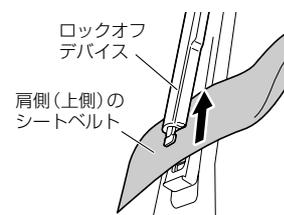


- ⑧ロックオフデバイスのレバーを開く。



- ⑨肩側（上側）のシートベルトをロックオフデバイスに通す。

- ⑩ロックオフデバイスのレバーを閉じる。



⚠ 警告

ロックオフデバイスのレバーが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

〈チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合〉

- ⑪シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

📖 知識

チャイルドシート固定機能の詳細な取り扱いについては、お車の取扱書をご参照ください。

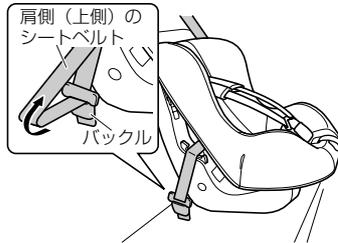
お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ⑫チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



知識

腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。



- ⑬取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。しっかり取り付けられていない場合は手順③からやり直す。

警告

チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは緩みがないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

知識

取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。



リクライニングの使いかた

リクライニングレバーを引き、お子さまの体重に合わせてリクライニング位置をセットする。

⚠ 警告

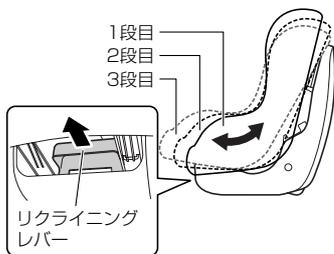
- お子さまの体重に合わせた位置で使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

📖 知識

リクライニングレバーが戻らない場合はリクライニング位置に正しくセットされていない状態です。チャイルドシートを軽く前後に動かし、リクライニングレバーがロックされていることを確認します。



リクライニング使用位置

リクライニングの位置	お子さまの体重	
	13kg未満	9～18kg未満
チャイルドシートの向き	後ろ向き	前向き
1段目	×	○
2段目	×	○
3段目	○	×

お子さまの座らせかた

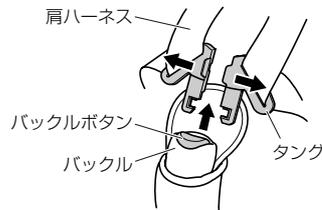
- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

知識

肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

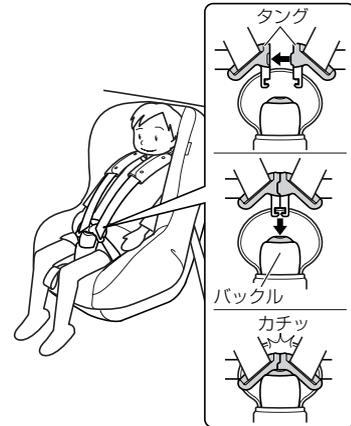
- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。

知識

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されているかご確認ください。

警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

警告

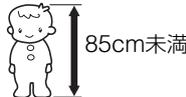
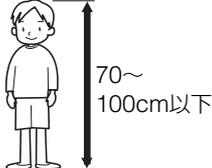
ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



ISOFIXで取り付ける

お子さまの条件

チャイルドシートは、お子さまの条件により、取り付けかたが異なります。ご使用になるお子さまに合った、正しい取り扱いを行ってください。

	乳児用	幼児用
体 重	13kg未満	9~18kg
参考年齢※	新生児~1歳半頃まで	9ヶ月頃~4歳頃まで
参考身長※	 85cm未満	 70~ 100cm以下
取り付けかた	 使用できません	前向き 

※年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるお車

右記条件のISOFIX対応チャイルドシートに対応しているお車のシートのみでご使用いただけます。

対応状況はお車の取扱書でご確認いただけます。

詳しくは、販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

ISOFIX 仕様

カテゴリ	ユニバーサル (汎用型)
グループ	I (9~18kg)
サイズ	A, B, B1 に適合

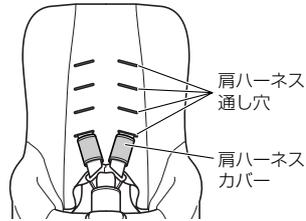
チャイルドシート取り付け前の準備

ハーネス高さおよびカバーの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置（P.50参照）を調整し、肩ハーネスカバー（P.51参照）を使用する必要があります。

📖 知識

- 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」（P.65）をご参照ください。



肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合、また正しい肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換」（P.52）を参照し、正しい状態にしてください。

肩ハーネスの高さ

お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（P.52）を参照し、以下のように正しい位置に調整してください。

■ 前向き（体重9～18kg）

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩より高い位置。



⚠ 警告

肩ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

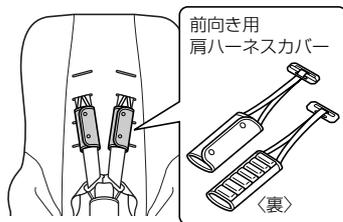
チャイルドシート取り付け前の準備

肩ハーネスカバー

肩ハーネスカバーの交換方法につきましては、「肩ハーネスカバーの交換」(P.52)を参照し、以下のように正しくお使いください。
ご使用になるお子さまに合った肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、正しい肩ハーネスカバーを取り付けてください。

■前向き（お子さまの体重9～18kg）

前向き用肩ハーネスが付いていることを確認する。



⚠ 警告

正しい肩ハーネスカバーを使用しないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

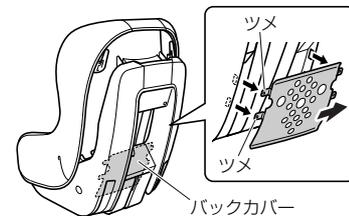
- ①リクライニングを3段目（P.63参照）にセットする。
- ②アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。

📖 知識

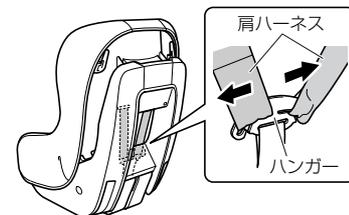
肩ハーネスを持って、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ③バックカバーをたわませてツメをはずし、本体から取りはずす。



- ④肩ハーネスをハンガーから取りはずす。

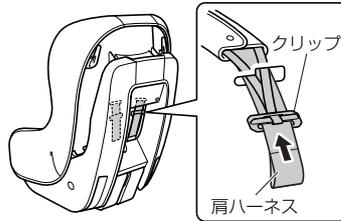


チャイルドシート取り付け前の準備

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

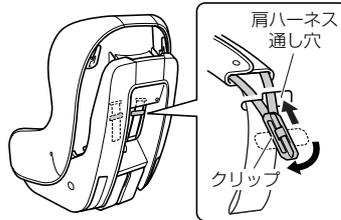
＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

- ⑤ 肩ハーネスカバーのクリップから肩ハーネスを引き抜く。



＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

- ⑥ クリップを縦にして、肩ハーネス通し穴へ通す。

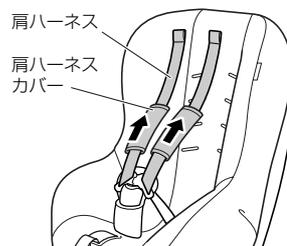


知識

一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.63参照)

- ⑦ 肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。

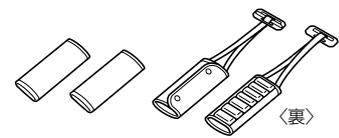
- ⑧ 肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



- ⑨ 肩ハーネスに、ご使用になるお子さまに合った肩ハーネスカバーを取り付ける。(P.51参照)

13kg未満
(後向き用)

9~18kg
(前向き用)



＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

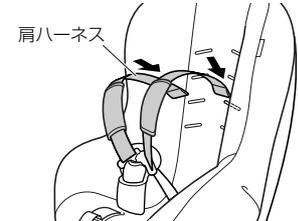
- ⑩ クリップを縦にして肩ハーネス通し穴へ通す。

知識

一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.63参照)



- ⑪ 肩ハーネスを適切な肩ハーネス通し穴へ通す。

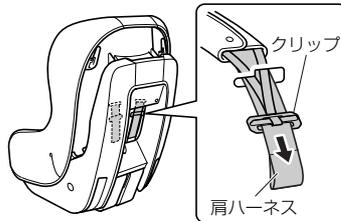


チャイルドシート取り付け前の準備

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

〈前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合〉

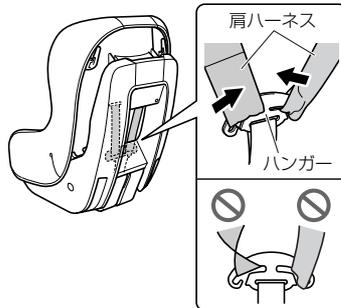
- ⑫ 肩ハーネスを肩ハーネスカバーのクリップへ通す。



- ⑬ 肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

⚠ 警告

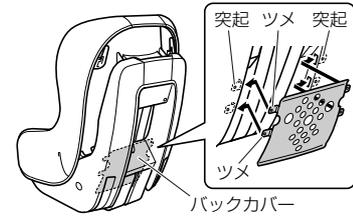
肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けてください。ねじれていたり、半掛けの状態で使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑭ バックカバーを取り付ける。

⚠ 注意

バックカバーのツメが本体に確実にハマっていないか、取り付ける向きが正しくないか、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

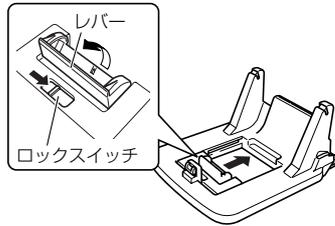


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ①ベース中央のレバーを引き上げながら奥に押し、コネクターを最大まで伸ばし、ロックスイッチをロック側に動かす。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



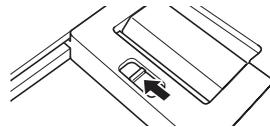
- ②シートクッションと背もたれの間を広げ、ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認し、コネクターを差し込む。コネクターが固定専用バーにロックすると、本体取り付け部のカバーが開く。ロックしない場合は、コネクターを引き出し、再び差し込む。

⚠ 警告

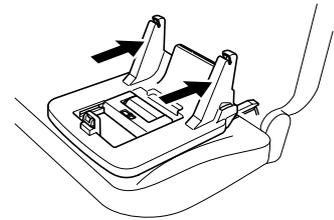
左右のコネクターがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



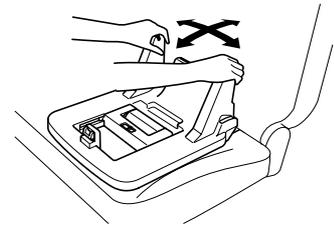
- ③ロックスイッチを解除する。



- ④ベースをシート背もたれに押さえつける。



- ⑤シートベースがしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認する。

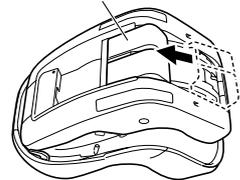


- ⑥チャイルドシート底面の角度スペーサーを前向き取り付け位置に（後方）セットする。

⚠ 注意

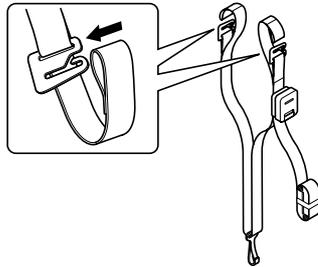
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

角度スペーサー

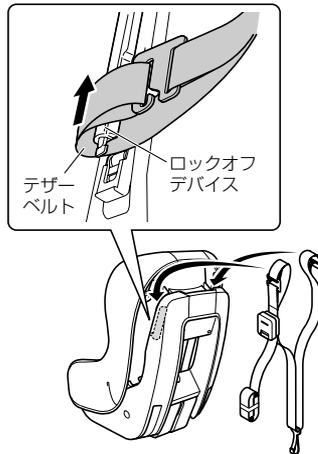


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ⑦テザーベルト先端の輪の部分
を折り返してフックに引っ掛ける。



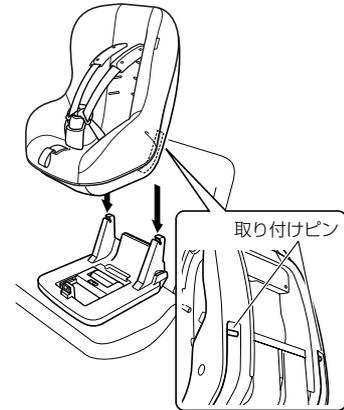
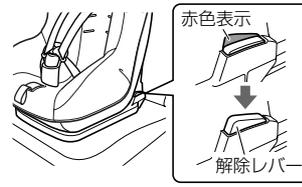
- ⑧テザーベルトをチャイルドシートの
ロックオフデバイスに取り
付ける。(P.39参照)



- ⑨チャイルドシート後ろ側の取り
付けピンを、ベースの本体連結
部に差し込み、チャイルドシ
ートを固定する。

☛ 知識

正しくロックした場合には、側
面の解除レバーが上がり、赤色
表示が見えなくなります。



- ⑩チャイルドシートを上から押さ
えつけ、チャイルドシート前側
もロックされたことを確認する。

☛ 知識

チャイルドシートがベースに
うまく取り付けられない場合
は、④の手順をとばし、最後
にチャイルドシートを背もた
れに押さえつけます。



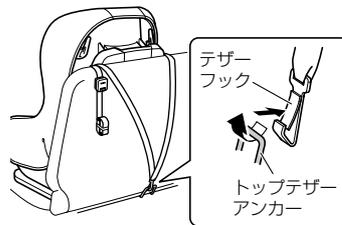
お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ⑪ テザーフックをトップテザーアンカーに連結する。

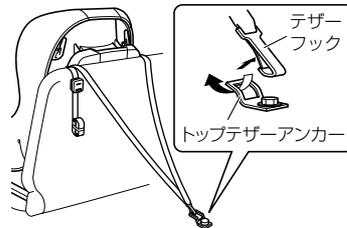
知識

テザーベルトの取り付けに關しましては、お車の取扱書もあわせてご確認ください。

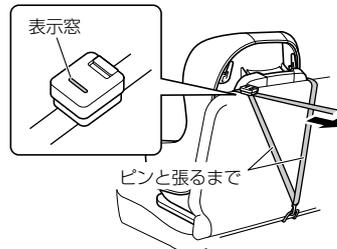
〈トップテザーアンカーがシートにある場合〉



〈トップテザーアンカーがシート以外にある場合〉



- ⑫ テザーベルトアジャスターの表示窓の表示が赤色から緑色になるまで、テザーベルトを強く引っ張る。



- ⑬ 取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。しっかり取り付けられていない場合は手順①からやり直す。

警告

チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを必ずご確認ください。しっかり取り付けしていないと事故時に重大な傷を負う可能性があります。

知識

取り付けに關し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。



お子さまの座らせかた

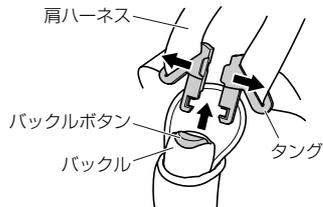
- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

知識

肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

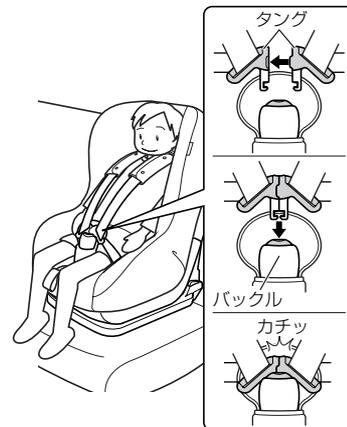
- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。

知識

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されているかご確認ください。

警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

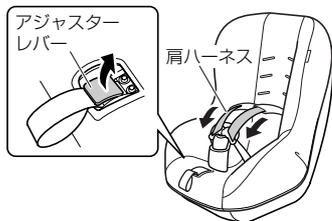


シートカバー類の取りはずし

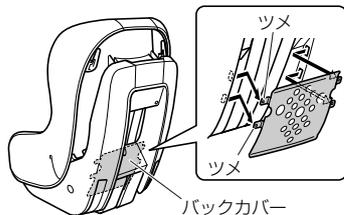
- ① アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

知識

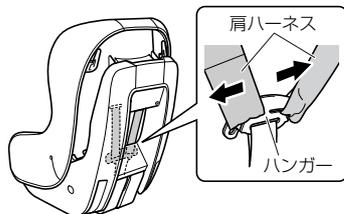
肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ② バックカバーをたるませツメははずし、本体から取りはずす。



- ③ 肩ハーネスをハンガーから取りはずす。



〈前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合〉

- ④ 肩ハーネスカバーのクリップから肩ハーネスを引き抜く。



〈前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合〉

- ⑤ クリップを縦にして肩ハーネス通し穴へ通す。

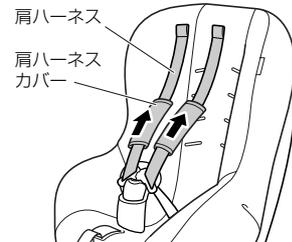
知識

一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.43参照)



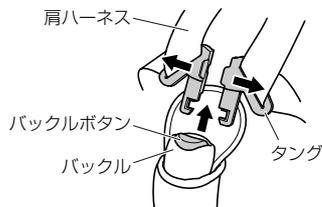
- ⑥ 肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。

- ⑦ 肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。

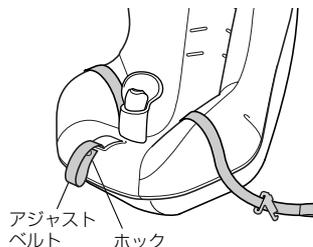


シートカバー類の取りはずし

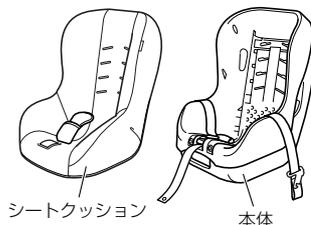
- ⑧バックルボタンを押してバックルからタングをはずす。



- ⑨アジャストベルト末端のホックをはずす。



- ⑩本体からシートクッションを取りはずす。



シートカバー類の取り付け

「取りはずし」と逆の手順で、各カバー類を取り付ける。

知 識

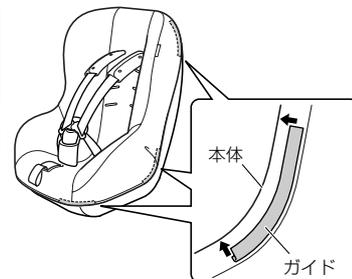
シートクッションは本体の形状に合わせてかぶせ、ガイドで固定します。

△ 注意

- クッションがズれていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
- ガイドが本体に確実にハマっていることを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

△ 警告

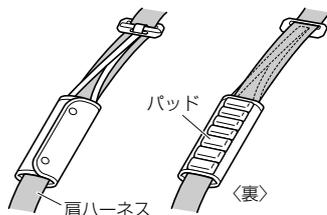
- 専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。



シートカバー類の取り付け

🏠 知識

- 前向き用肩ハーネスカバーを肩ハーネスに通すときの方向に注意してください。
- 前向き用肩ハーネスには、裏面（お子さまの体に接触する面）に凸凹のパッドが付いています。



⚠ 警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。
- 専用カバー以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
- カバー類は必ず取り付けて使用してください。取り付けないと金属部分や樹脂部分が、日光が当たることで熱くなり、やけどをするおそれがあります。

各部のお手入れ

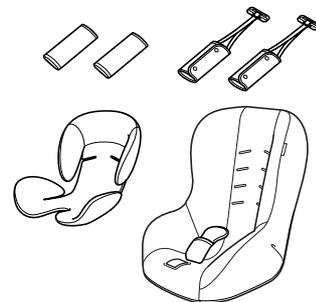
〈カバー類〉

カバー類が汚れた場合は、チャイルドシートから取りはずし、中性洗剤を使用して手で押し洗いをしてください。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

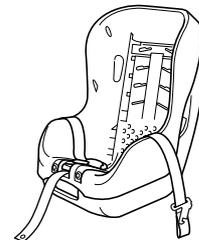


〈本体〉

チャイルドシートのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

⚠ 注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

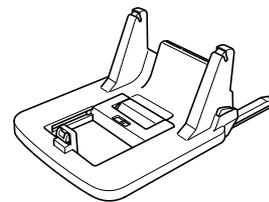


〈ベース〉

ベースのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

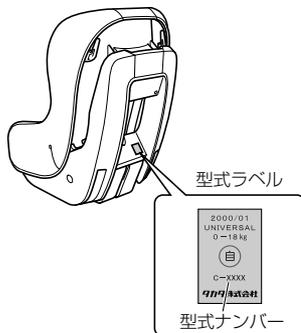
⚠ 注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。



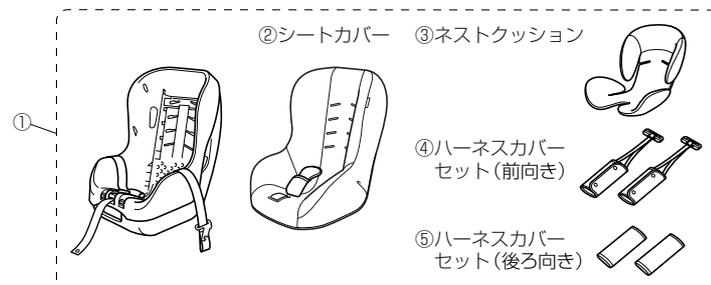
補修部品について

お買い上げの販売店、もしくはお客様相談センター（0800-700-7700）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシートの品番を必ずお伝えください。
もし、品番が不明な場合は、背面に貼ってある型式ラベルに記載されている型式ナンバーをお伝えください。



■チャイルドシート

番号	品名	品番	備考
①	NEO G-Child ISO tether	08795-00A00	②、③、④、⑤のセット
②	シートカバー	08795-00A01	
③	ネストクッション	08795-00A02	
④	ハーネスカバーセット(前向き用)	08795-00A03	
⑤	ハーネスカバーセット(後ろ向き用)	08795-00A04	



■ベースキット(別売)

番号	品名	品番	備考
⑥	NEO ISO ベース	08796-00030	⑦、⑧のセット
⑦	ベース	08796-00031	
⑧	テザーベルト	08796-00032	

